

灯具品番	配光	取付	適合ポール		適合電源ユニット	適合中継ケーブル
NNY27370	連続照明配光	直線形ポール タイプ	建設電気技術協会仕様標準ポール テーパーポール：高さ8m～12m 注）ポール先端に加工が必要です。 （詳細は承認図でご確認ください。）	直線形	NNY28170LF2	NNY28535（1m）
NNY27375	交差点配光					NNY28536（8m）
NNY27371	連続照明配光	アーム形ポール タイプ		長円形 折線形		NNY28537（10m）
NNY27376	交差点配光					NNY28538（12m） NNY28539（14m）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

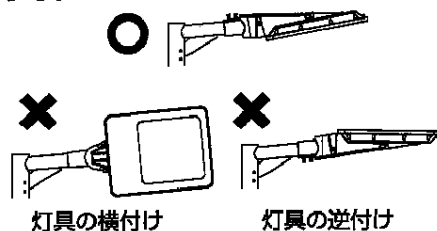
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災・ポール転倒の原因となります。
- 器具を改造しない。
落下・感電・火災・ポール折れの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用する屋内プール等、海岸隣接地域では使用しない。
落下・感電・火災・ポール折れの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい必ずD種（第3種）接地工事をする。
不備があると、感電・火災の原因となります。
- 接続箇所は被覆付きスリーブにて接続後、確実に防水+絶縁処理を行う。また活線作業をしない。
漏電・感電・火災の原因となります。
- 必ず適合ポール及び適合電源ユニット、適合中継ケーブルと組み合わせて使用する。
不備があると器具落下・器具破損・短寿命及び漏電・感電・火災の原因となります。
- 灯具の逆付け、横付けは行わない。（アーム形ポールタイプの場合）
落下・感電・火災の原因となります。
- 適合電源ユニットは必ず適合ポール内で使用する。
指定外の場所で使用すると、落下・感電・火災の原因となります。
- 適合電源ユニットの二次側を接続しないまま放置しない。
未接続のまま電源を投入すると、感電・火災の原因となります。



注意

- 灯具の耐風速は60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。
灯具落下・ポール転倒の原因となります。
- ポールにはしごをかけての施工や、バケット車の使用できないような狭い場所では使用しないでください。
ポールのキズつき、傾き、施工中によるけがの原因となります。
バケット車で施工、メンテナンスをお勧めします。器具を施工する際は2人以上で作業を行ってください。
- 周囲温度は、-20～35℃で使用ください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
指定外の周囲温度で使用すると、器具の短寿命や不点、発火の原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
器具破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- スイッチを接地側に取り付けた場合、ノイズにより消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）にお取り付けください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをお勧めいたします。）

各部のなまえと取付方法

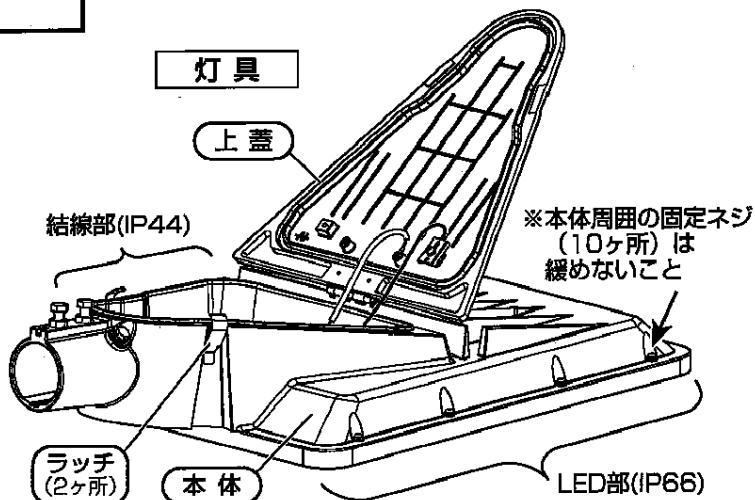
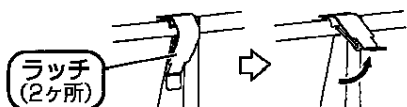
警告

- 施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 活線作業をしない。感電・火災の原因となります。
- 灯具本体の固定ネジ（10ヶ所）は緩めないこと。
守らないと落下・感電・火災の原因となります。

※アーム形ボールタイプの例で説明しています。

1 灯具の上蓋を開ける

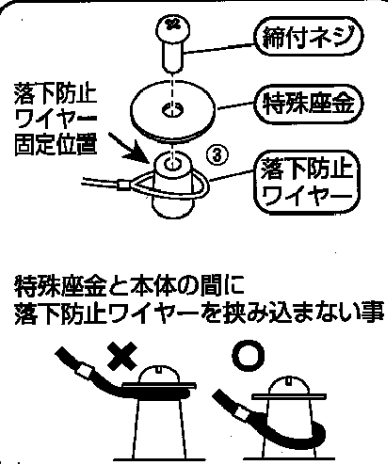
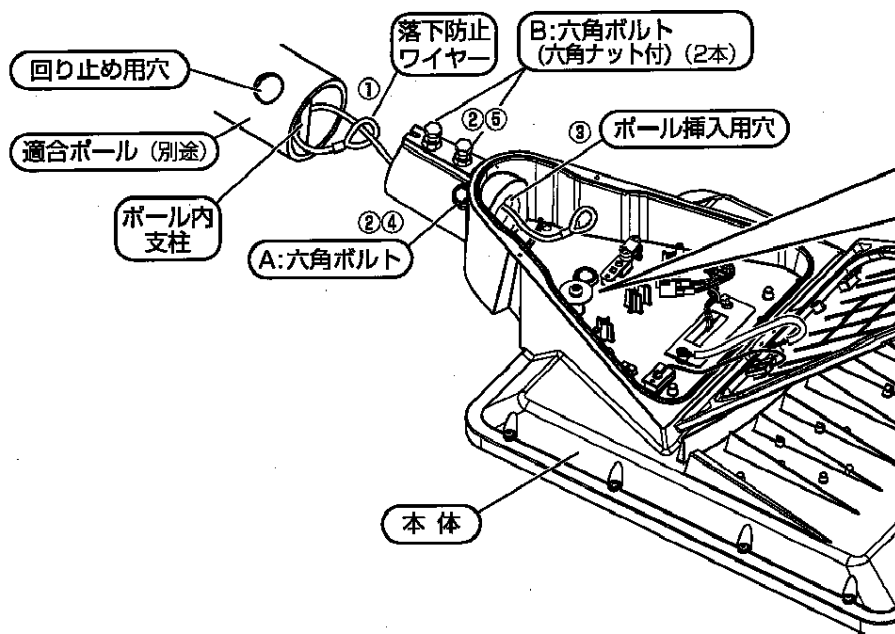
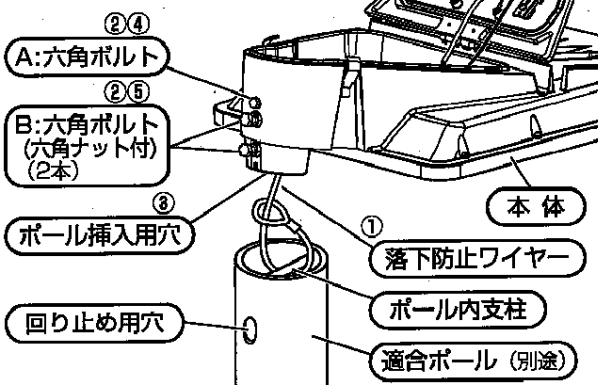
- ・上蓋のラッチ（2ヶ所）を起こし、解除して開ける。



2 灯具を取り付ける

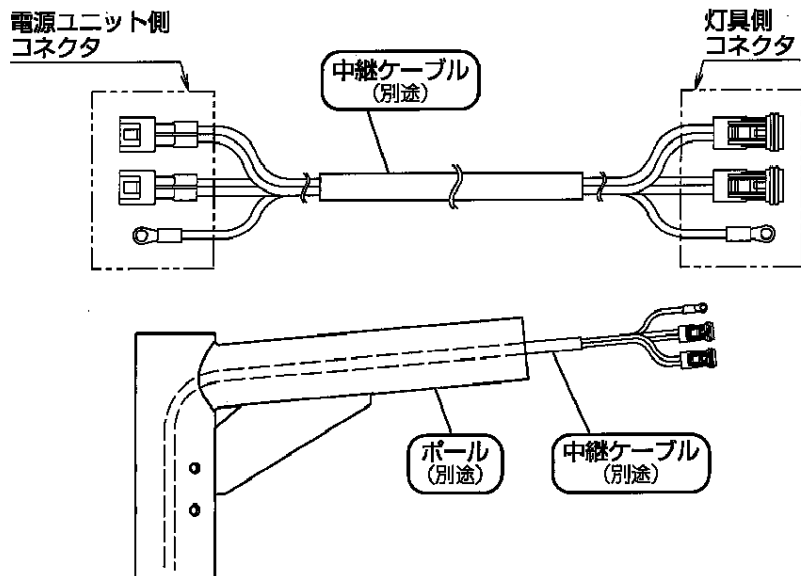
- ①落下防止ワイヤーを、仮止めている本体より取り外す。
落下防止ワイヤーを下図のようにボール内支柱に通し、一端の輪をもう一方の輪の中に通す。
 - ②A、Bの六角ボルト3本を、ボールが差し込めるまで緩める。
 - ③ボール挿入用穴より落下防止ワイヤーを本体内に通してから、ボールに本体を差し込む。
締付ネジと特殊座金で、落下防止ワイヤーを本体に取り付ける。
(推奨締付トルク M8: 18N・m)
 - ④Aの六角ボルトを、ボールの回り止め用穴に通させ、確実に締め付ける。
(推奨締付トルク M8: 18N・m)
 - ⑤Bの六角ボルト2本を確実に締め付け、六角ナット2個でさらに締め付ける。
(推奨締付トルク M10: 37N・m)
 - ⑥余分な落下防止ワイヤーをボール内に押し込む。
- 取り付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

※直線形ボールタイプの場合



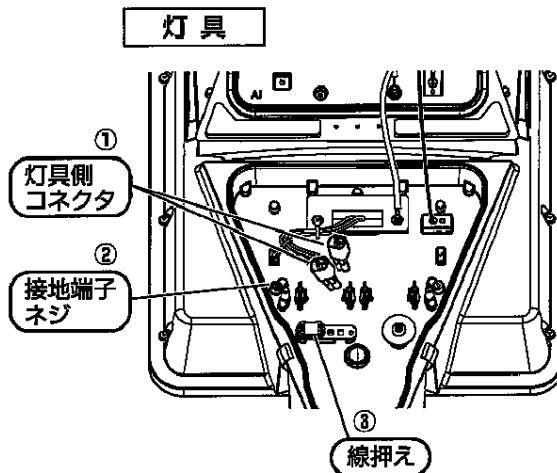
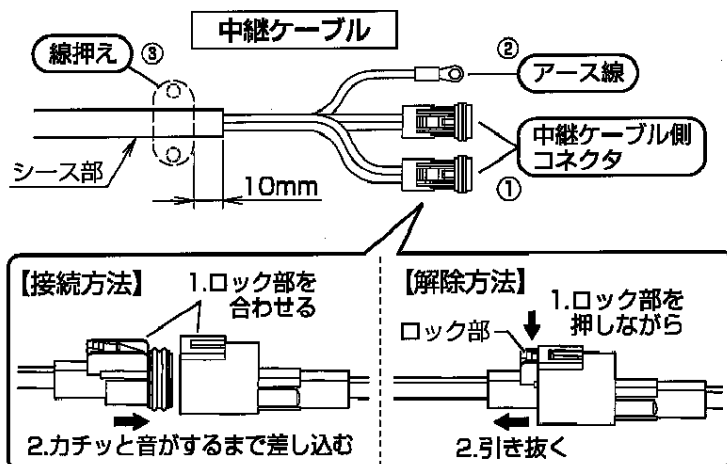
3 ボールに中継ケーブルを通す

- ・適合ボール、適合中継ケーブルを使用してください。
- ・中継ケーブルの両端はコネクタの形状が異なります。間違くと接続ができません。



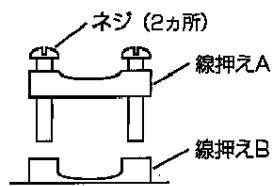
4 灯具と中継ケーブルの接続

- ① 灯具側コネクタと中継ケーブル側コネクタを確実に接続する。
- ② 中継ケーブルのアース線を灯具の接地端子ネジに取り付ける。
不備があると漏電・感電・火災の原因となります。
- ③ 余分な中継ケーブルを出来るだけボール内に押し込み、必ず線押えでシース部を固定する。
中継ケーブルの押え量は線外径の1/4程度としてください。
押さえ込みすぎると絶縁破壊による感電の原因となります。

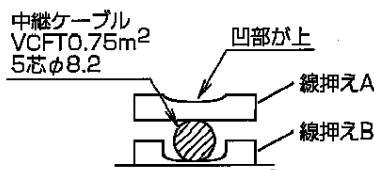


線押えの使いかた

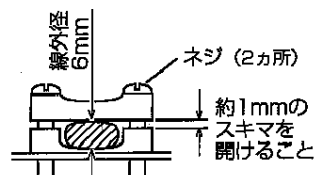
1. ネジ2カ所を取り外し、線押えAを取り外す



2. 中継ケーブルを線押えBに乗せ、線押えAで押さえる

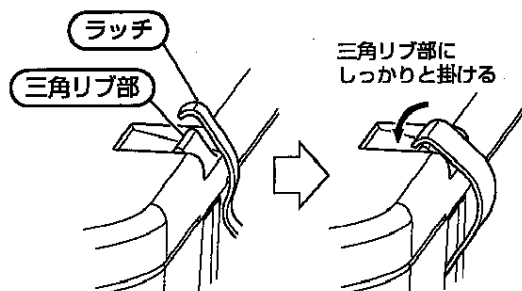


3. ネジ2カ所を締め付け固定する
・中継ケーブルの押え量は線外径の1/4程度としてください。

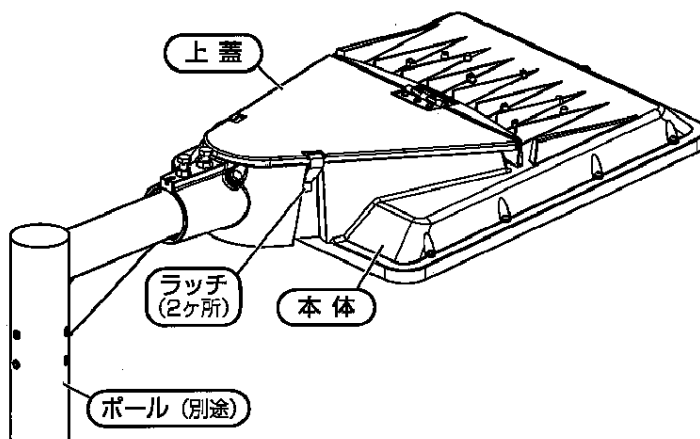


5 灯具の上蓋を閉める

- ・中継ケーブルが挟まっていないことを確認し、上蓋を閉める。
ラッチ（2ヶ所）を上蓋の三角リブ部にしっかりと掛けて上蓋を固定する。

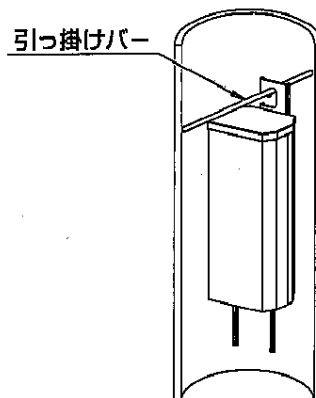
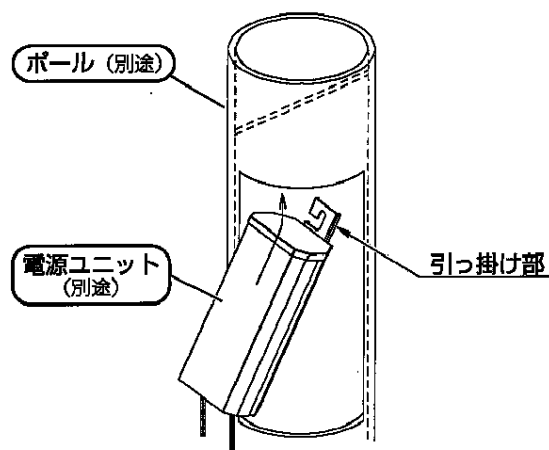


固定が不完全な場合、
落下・感電・火災の原因となります。



6 電源ユニットをポールに取り付ける

- ・適合電源ユニットを使用してください。
- ・ポールに設けられている収納部のフタを取り外す。
- ・引っ掛け部を上にして、電源ユニットをポール収納部の開口穴に挿入する。
不備があると漏電・感電・火災の原因となります。
- ・ポール内部の引っ掛けバーに、電源ユニットの引っ掛け部を確実に引っ掛ける。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ・収納部のフタをポールに確実に取り付ける。
不備があると浸水による多落下・感電・火災の原因となります。

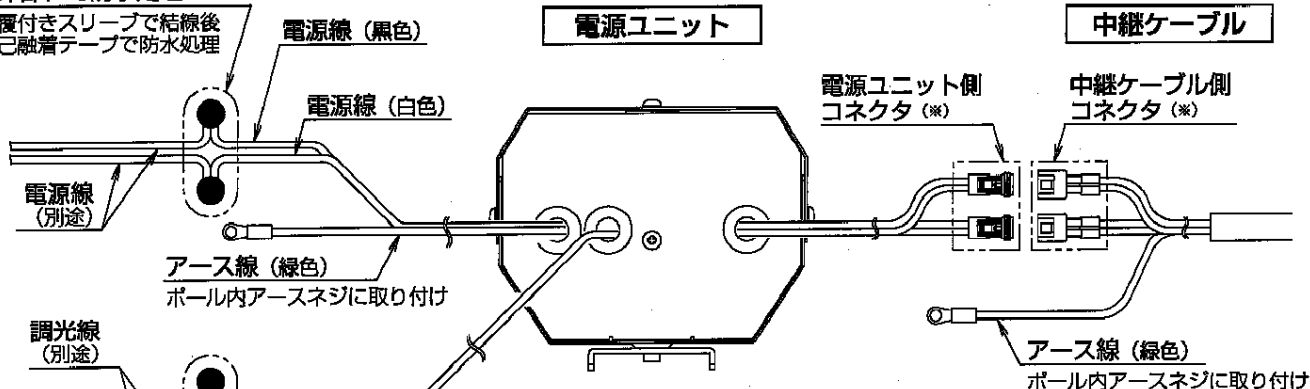


7 電源ユニットと中継ケーブル・電源線・調光線・アース線の接続

- ・電源ユニット側コネクタと中継ケーブル側コネクタを確実に接続する。
 - ・電源線・調光線を確実に接続する。
 - ・アース線をポール内アースネジに確実に接続する。
- 不備があると漏電・感電・火災の原因となります。

●印部にて防水処理

被覆付きスリーブで結線後
自己融着テープで防水処理



●印部にて防水処理

被覆付きスリーブで結線後
自己融着テープで防水処理

出荷時は電線先端に防水処理が施されています。
調光線（別途）と結線する際は
先端を処理してから各線と結線してください。

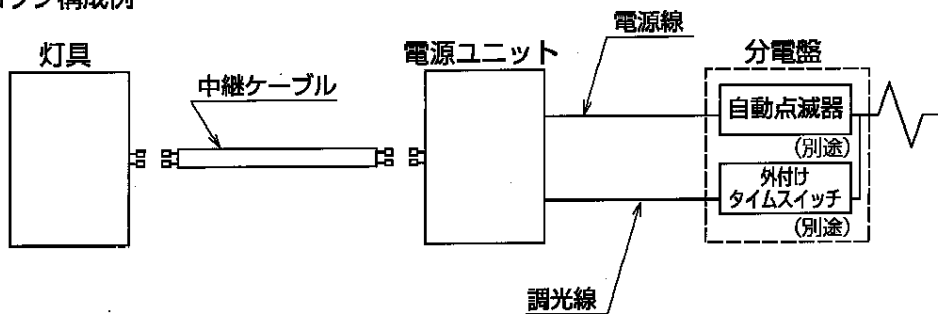
(※) コネクタの接続方法・解除方法は、
3ページ 手順4 参照

段調光機能動作説明

外付けタイムスイッチ（別途）動作

- 設定した時刻に段調光点灯を開始します。

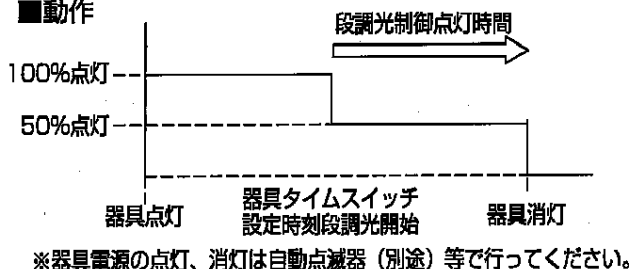
■ブロック構成例



下記の項目を設定してください。

- **外付けタイムスイッチ（別途）**
 - ・ 段調光点灯を開始させたい時間を設定してください。
 - ※ 設定方法はタイムスイッチの取扱説明書にしたがってください。
- **段調光レベル**
 - ・ 50%点灯

■動作



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- 器具に振動や衝撃を与えないでください。器具破損による不点・感電・火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。やけど・感電の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららがでることがあります。つららの除去を行ってください。つらら落下によるけがの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をしてください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門業者による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021YA）点検せずに長期間使い続けるとまれに感電・火災などに至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命（※2）は60,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

■LEDにはバツキがあるため同一品番でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。

使用上のご注意

- ・この器具は自動初期光束補正機能付照明器具です。定格出力の約80%の光束を保つように設計されています。
- ・電源投入から数秒後に調光状態（初期光束補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、適合電源ユニットは3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間……弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- ・器具の清掃について……汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後は
灯具、電源ユニットや
その周辺をさわらない
こと

■定格

電圧	入力電流	消費電力	周波数
AC200V	0.36A	69W	50Hz/60Hz共用